衆議院議長　　様
参議院議長　　様

特別支援学校の設置基準策定を求める請願署名

【請願趣旨】

特別支援学校の教室が足りません

全国的に特別支援学校の児童・生徒数の増加がすすみ、特別支援学校はこの10年間に33,771人の増加となっています。特別支援学校の在籍者が10年前の約1.3倍になっているにもかかわらず、学校建設はきわめて不十分です。全国で不足している教室は、2016年10月の文科省調査で3430教室にのぼることが明らかになっています。

また同じく文部科学省の「公立学校施設実態調査報告」(2016年度)では、教育活動に必要とされる面積に対し実際の特別支援学校の保有面積が３分の２程度である実態が明らかにされ、ほぼ100％充足している小中学校などとの違いが歴然としています。

普通教室確保のために、一つの教室を薄いカーテン１枚で仕切った教室は狭く、隣のクラスの先生や子どもの声も筒抜けになり、落ち着いた授業にはなりません。体育館を複数の学年・学級で使うので、「できるだけ体を動かさない体育」を行ったり、年間通して玄関ホールで体育を行う学校もあります。特別教室が普通教室に転用され、医療的ケアが必要な子どもと動き回る子どもが同じ空間で過ごさざるをえない状況さえ生まれています。

児童・生徒数の急増に教育条件の整備が全く追いつかない現在の状況は、子どもたちの学ぶ権利を奪うばかりか、いのちと健康をも脅かしており、もはや人権侵害といえます。

特別支援学校だけ設置基準がありません

こういった事態の根幹にあるのが、幼稚園から小中学校、高校、大学、専門学校まですべてにある設置基準(学校を設置するのに必要な最低の基準)が特別支援学校だけにないことです。

上記の実態を踏まえ、ただちに下記の事項について実現してください。

ちょっとしずかにしてネ～
先生つかれてネ
ちょっと待ってネ～
せんせー
これ見て～
せんせー
せんせー
せんせー